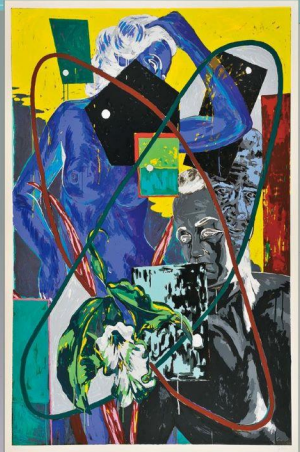
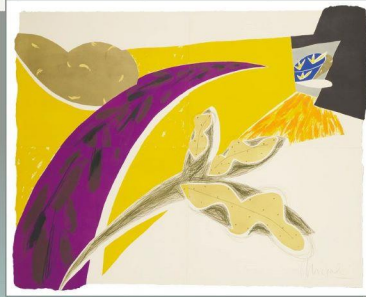


横尾忠則(ヒコキア-モの愛と誠実 II)
1989年、スグリーンプリント



Playback!
Millennium 1991-2001:
Transcending Boundaries by
and through Printmaking



片山みやび(からから日暮れのこと) 1993年、リトグラフ

プレイバック!

ミレニアム 1991→2001

— 版画が / 版画で越えた境界 —

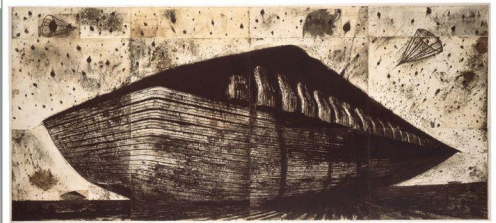


マティヤス・ワツスケ(MERIDIONAL) 1996年、オフセット

懐かしくて新しいあの頃へー

2026
6.27 sat ▶▶▶ **8.30 sun**

休館日=月曜日 *ただし7月20日(月・祝)は開館し、翌火曜日は休館。
開館時間=平日: 10時~17時、土日祝: 10時~17時30分 *入場は開館30分前まで
観覧料=一般900(700)円、大学・高校生450(350)円、中学生以下無料
*()は20名以上の団体料金 *初日6月27日(土)は入場無料 *毎月第4水曜日はシルバーデー(7月22日、
8月26日は65歳以上の方無料) *身体障がい者手帳、要の手帳(療育手帳)または精神障がい者保健福祉手帳を
ご提示の方と付き添いの方1名は半額 *割引の詳細は当館HPに掲載



山口啓介(冥界の船) 1990年、エッチング

 **町田市立国際版画美術館**
Machida City Museum of Graphic Arts



〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1 TEL 042-726-2771 <https://hanga-museum.jp/>

X  @machida_hanbi

近年「Y2K (Year2000)」や「平成レトロ」カルチャーとして再注目されている1990年代から2000年代初頭。終末感や社会不安を抱えつつも、希望とともに新しいミレニアムの幕を開けようとしていたこの時代、版画の世界では、写真や立体との融合や大型作品の制作、デジタル技術の活用など、従来の版画の枠を越えようとする新しい表現が試みられました。さらに好景気の余韻で活発に行われていた地方自治体発の国際版画展がこの動きを後押ししました。

本展は、町田市立国際版画美術館と神奈川県民ホールで開催された当時の5つの「現代」版画展や当館の公開制作を中心に、約100点の作品を通じてこの時代を振り返ります。20世紀という「戦争の世紀」を省みる視点や、ボーダーレスな版表現の実験、そして版画による国際交流の足跡を辿ります。

同時開催	
特集展示	「メキシコに生きる版画家 オロジシ 竹田鎮三郎：起源を求めて」
会期	6/19(金)～8/30(日)
会場	常設展示室
(入場無料)	

毎週水・土曜日はフリートクデー!

会期中の水曜日・土曜日

「鑑賞のための静けさ」よりも作品をめぐる会話を楽しんでいただこうという試みです。小さなお子さま連れの方も気兼ねなくぜひご入場ください。

X @machida_hanbi

町田市立国際版画美術館
Machida City Museum of Graphic Arts

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1
TEL 042-726-2771 <https://hanga-museum.jp/>
お問い合わせ:042-722-3111(町田市役所代表電話)

★本展でプレイバックする5つの展覧会★

1991年 | マニエラの交差点—版画と映像表現の現在展(町田市立国際版画美術館)

1993年 | TOKYOまちだ国際版画展(町田市立国際版画美術館)

1995年 | ザ・版画 刻まれた現代史 世界の版画・戦後50年展(神奈川県民ホール)
※展覧会に際して制作された委嘱作品を紹介

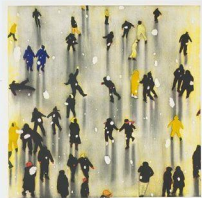
1998年 | 神奈川県国際版画トリエンナーレ'98(神奈川県民ホール)

2001年 | 神奈川県国際版画トリエンナーレ2001(神奈川県民ホール)



1 「版画」の境界を広げた挑戦

版画と写真・立体が共存する新しい手法や、空間を圧倒する大型作品など、アーティストたちが試みた実験的な表現をお楽しみいただけます。当館の公開制作アーカイブから制作プロセスをご紹介します。



2 国際版画展の足跡

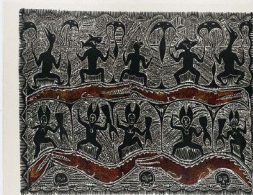
自治体発の国際交流の成果として収集された、アジア、欧米、オセアニアなど世界各国の多様な作品を展示します。

3 「戦争の世紀」を省みる視点

戦後50年の節目であった1995年に、激動の20世紀を省みることで生まれたアーティストたちの深い洞察に触れることができます。

4 町田市立国際版画美術館と 神奈川県民ホール旧蔵品から検証する「現代版画」

1987年の開館以来、当館が収集してきた同時代の作品と、神奈川県民ホールから新たに寄贈された作品群を一挙に公開。当時の「現代版画」の熱量を再検証します。



1 クリストファー・ブラウン
(40の断片)1991年、カラー・
アクアチント、ソフトグラウンド・
エッチング ©Christopher Brown and
Berggruen Gallery, San Francisco

2 デニス・ノナ
(タバラ)1993年、リノカット
3 元田久治
(Landscape 282-01)2001年、
リトグラフ
4 駐地拓治
(ひとつの波より)1995年、杉材、
胡粉、パテ、スクリーンプリント
※掲載作品は全て当館蔵

関連イベント

★印のイベントは、町田市イベント申込システム「イベシス」HPあるいはイベントダイヤルでの事前申込が必要です。申込期間等、詳細については当館HPをご覧ください。

(1) トークイベント

「神奈川県民ホール・ギャラリーと版画」

日時 | 7/25(土) 14:00～15:30

出演 | 藤嶋俊會(美術評論家、元神奈川県民ホール・ギャラリー学芸員)、聞き手:森谷佳永(神奈川県立県民ホール学芸員)

定員 | 120名(先着順)

会場 | 講堂 ※本展観覧券(半券可)をご用意ください

(2) 親子で探検! 美術館バックヤードツアー【★要申込】

日時 | 8/1(土) 10:30～11:30

ガイド | 博物館学実習生

対象 | 小学生とその保護者

定員 | 8組(申込順)

受付開始 | 7/7(火) 12:00～

イベントコード | 260707A

※保護者の方は本展当日有効観覧券をご用意ください(小学生は参加無料)

(3) 0歳からOK! 親子で楽しむ展覧会ツアー【★要申込】

美術鑑賞はむずかしいと思いませんか?

講師のガイドで、0歳から楽しめます!

日時 | ①8/19(水) ②8/22(土) 10:15～11:30

対象 | 0歳～小学生とその保護者

定員 | 各回10組(申込順)

講師 | 富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)

会場 | 講堂、企画展示室

受付開始 | 7/22(水) 12:00～

イベントコード | ①260722A ②260722B

※保護者の方は本展当日有効観覧券をご用意ください(お子さんは参加無料)

(4) 担当学芸員によるギャラリートーク

日時 | 7/18(土)、8/15(土) 町村悠香 | 8/8(土)

高野詩織 | 8/26(水) 川添愛奈

14:00～(30分程度)

会場 | 企画展示室

※本展当日有効観覧券をご用意ください

※●の日は、学芸員とおしゃべり鑑賞!

感想を自由に語り合いながら作品を楽しみます。

(5) プロムナード・コンサート

日時 | 6/28(日)

【第1部】13:00～、【第2部】15:00～

(各回30分程度)

会場 | エントランスホール

出演 | 【第1部】桜美林大学芸術文化学群音楽専修

【第2部】玉川大学芸術学部音楽学科

※鑑賞無料



アクセス
小田原線緑線町田駅より徒歩約15分